

# 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果について

5月27日に小学校6年生、中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。このほど、調査結果およびそのデータ分析がまとまりました。本校の結果をお知らせします。

## 【国語における平均正答率】

| 分類        | 区分            | 対象問題数(問)           | 平均正答率(%) |          |        |      |
|-----------|---------------|--------------------|----------|----------|--------|------|
|           |               |                    | 本校       | 神奈川県(公立) | 全国(公立) |      |
| 全体        |               | 14                 | 59       | 63       | 64.7   |      |
| 学習指導要領の内容 | 知識及び技能        | (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 | 6        | 59.0     | 63.8   | 68.3 |
|           |               | (2)情報の扱い方に関する事項    | 0        |          |        |      |
|           |               | (3)我が国の言語文化に関する事項  | 0        |          |        |      |
|           | 思考力、判断力、表現力等  | A 話すこと・聞くこと        | 3        | 75.3     | 78.9   | 77.8 |
|           |               | B 書くこと             | 2        | 62.0     | 58.3   | 60.7 |
|           |               | C 読むこと             | 3        | 42.7     | 48.7   | 47.2 |
| 評価の観点     | 知識・技能         | 6                  | 59.0     | 63.8     | 68.3   |      |
|           | 思考・判断・表現      | 8                  | 59.8     | 62.5     | 62.1   |      |
|           | 主体的に学習に取り組む態度 | 0                  |          |          |        |      |
| 問題形式      | 選択式           | 8                  | 68.8     | 71.6     | 71.7   |      |
|           | 短答式           | 3                  | 58.0     | 64.2     | 70.6   |      |
|           | 記述式           | 3                  | 36.0     | 38.9     | 40.2   |      |

## 【算数における平均正答率】

| 分類        | 区分            | 対象問題数(問) | 平均正答率(%) |          |        |
|-----------|---------------|----------|----------|----------|--------|
|           |               |          | 本校       | 神奈川県(公立) | 全国(公立) |
| 全体        |               | 16       | 69       | 70       | 70.2   |
| 学習指導要領の内容 | A 数と計算        | 4        | 62.0     | 62.2     | 63.1   |
|           | B 図形          | 3        | 55.3     | 57.3     | 57.9   |
|           | C 測定          | 3        | 72.7     | 74.7     | 74.8   |
|           | C 変化と関係       | 3        | 78.7     | 76.6     | 75.9   |
|           | D データの活用      | 5        | 75.2     | 77.1     | 76.0   |
| 評価の観点     | 知識・技能         | 9        | 74.0     | 74.4     | 74.1   |
|           | 思考・判断・表現      | 7        | 62.3     | 65.1     | 65.1   |
|           | 主体的に学習に取り組む態度 | 0        |          |          |        |
| 問題形式      | 選択式           | 6        | 78.0     | 77.4     | 76.0   |
|           | 短答式           | 6        | 73.7     | 75.4     | 75.8   |
|           | 記述式           | 4        | 48.0     | 52.2     | 53.0   |

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について、各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

全体の結果として、今年度の本校の平均正答率は、国語では神奈川県、全国の平均正答率に比べてやや下回りましたが、算数では神奈川県、全国の平均正答率とほぼ同じ水準という結果になりました。

## 国語

「思考力、判断力、表現力等」の「B 書くこと」において、神奈川県、全国の平均正答率よりも高い結果となりました。「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える」ことや、「目的や意図に応じて理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」ことを、今後の学習においても意図的に指導し、伸ばしていくようにします。

「思考力、判断力、表現力等」の「C 読むこと」を問う問題においては、特に厳しい結果となりました。中でも「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つける」ことが難しかったようです。新聞記事や社会科資料など、物事を図表とともに説明する文章に、日常的に触れる機会を増やしていくことが必要だと思われます。

## 算数

「C 変化と関係」において神奈川県、全国の平均正答率よりも高い結果となりました。

「速さを求める除法の式と商の意味の理解」や、「速さと道のりを基に、時間を求める式に表すこと」など、「速さ」の学習が定着していることが伺えました。

課題としては、「D データの活用」の「帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述する」ことができず、無回答とする児童が18%いました。国語の「C 読むこと」と合わせて、指導を工夫し、情報を読み取ったり考えを深めたりする力を伸ばしていくようにしていきます。

## 学習や生活に関する回答結果

「朝食を毎日食べていますか」「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」の設問に対して「①当てはまる」「②どちらかといえば当てはまる」と答えた割合が9割以上と、高い結果が見られました。しかし「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の設問に対しては、「③どちらかといえば当てはまらない」「④当てはまらない」も含めてばらつきがありました。“早寝・早起き・朝ごはん”を実践して、安定した学校生活を送れるようにしたいところです。

「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」「人が困っているときは、進んで助けていますか」の設問には、①②を合わせてそれぞれ80%以上、90%以上の回答がある一方で、「自分には、よいところがあると思いますか」の設問に対しては、①②を合わせても7割弱と、ここでもばらつきがありました。自他に対して前向きな取り組みをしているにもかかわらず、そのことを肯定的に受け止めたり自分を評価したりすることにつながっていない傾向が見られます。教師や周りの大人が認めたり褒めたりすることで、自己有用感や自己肯定感を高められるようにしていくことが大切だと改めて感じました。

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中「規則正しい生活を送っていた」と回答した児童が①②を合わせて64%、「計画的に学習を続けることができた」と回答した児童が①②を合わせて58%、「勉強について不安を感じた」と回答した児童が①②を合わせて48%という結果が出ました。休校期間中の生活リズムを崩さないようにしながら、学校からの課題を受けて自分なりに取り組み方を考えて学習を続けつつも、先行きの見えない不安を感じていた様子が分かります。

この9月も分散登校となりましたが、ウィズコロナの時代において、子どもたちの学習をいかに保障していくかということは、学校現場における最大の課題です。子どもたちが興味・関心をもってじっくりと学び、その資質・能力を伸ばしていけるよう、今後もよりよい指導の在り方を模索し、安心で楽しい学校づくりに努めてまいります。